

環境に配慮した持続可能なまちづくりを

都市開発事業の計画、立案のほか、自社の不動産投資、工事受注につながる顧客提案や営業支援を行います。

自らのアイデアと大林組の技術力を融合させ、企画段階から建設期間中、事業化までに発生する

様々な課題を解決しながら、魅力ある「まちづくり」をワンストップでプロデュースしています。

都市開発に関する技術的なノウハウの他にも、ファイナンス、税制や運営管理等、

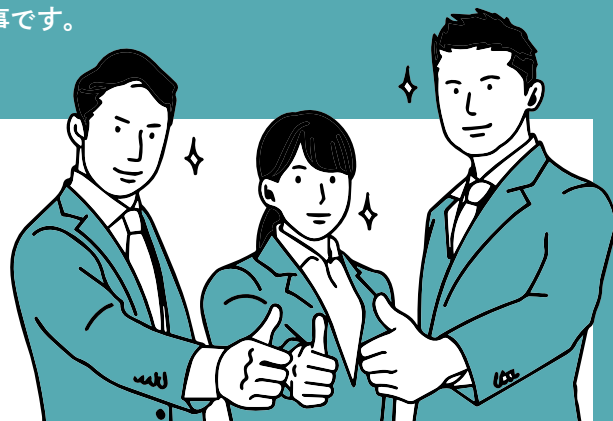
幅広い知識も必要となり、大きな可能性を秘めた魅力ある仕事です。

求める人物像

チームで働くことが好きな人。

明るく前向きに課題解決に取り組める人。

固定概念にとらわれず柔軟な考えや新しい考え方ができる人。



建築職（開発）の主な業務

グランフロント大阪



JR大阪駅北側の貨物ヤード跡地で進められている「うめきたプロジェクト」の1期開発です。SDGsなどに配慮した大阪の新しい都市モデルの実現を目指した2期開発にも引き続き開発事業者、設計者、施工者として取り組んでいます。

東京駅前八重洲一丁目東B地区第一種市街地再開発事業



国際都市東京の陸の玄関口として、八重洲エリアのみならず東京全体の更なる賑わい創出と国際競争力の向上に資する東京駅前の大規模再開発事業を推進しています。

O-NES TOWER



大林組子会社のタイ大林によるバンコク都心部駅直結の好立地における大型開発事業です。環境に配慮した29階建ての最先端スマートビルで、大林グループが所有する賃貸オフィスビルです（2021年12月竣工）。

開発事業本部執務フロア



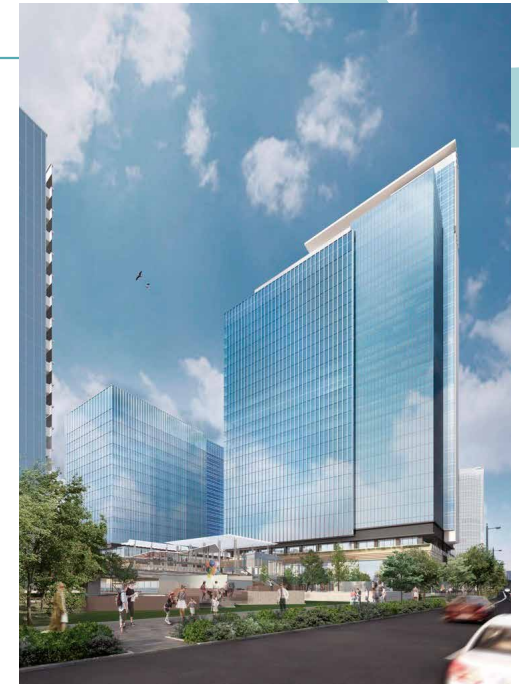
ワークライフバランスや働き方改革を社内でも先駆けて検討し、2020年に執務スペースを他部門より一足早くリニューアルしました。

PICK UP PROJECT

みなとみらい21中央地区53街区開発

大林組が代表企業となり、京浜急行電鉄、日鉄興和不動産、ヤマハ、みなとみらい53EASTと共同で開発する「みなとみらい21中央地区53街区開発事業」が、2021年4月に着工しました。

みなとみらい線「新高島」駅の至近で、一大ターミナルである「横浜」駅からも徒歩8分の位置にあるみなとみらい21中央地区53街区に、地上30階・塔屋2階・地下1階からなり、ホテルや店舗、オフィスなどが入る予定の「WEST棟」と、地上16階・塔屋1階・地下1階でオフィスと店舗などが入る「EAST棟」を建設。総延べ面積18万㎡を超える大規模複合開発です。WEST棟の高層部には、京急グループの宿泊特化型ホテルの上位グレードである「京急EXホテル」が出店するほか、低層部にはヤマハのブランド発信拠点が設けられ、音楽を活用したまちづくりも計画されています。2024年3月末完成予定です。



the Interview

夢だった一大都市計画プロジェクト、 しっかり仕上げたい



戸倉 慧

開発事業本部 開発推進第三部 / 2007年入社

大学では都市計画やまちづくりについて研究しており、漠然と学んだ知識を活かした仕事をしたいと思っていたところ、授業の一環で大学主催の品川駅周辺開発事業の見学会に参加。街がどんどん大きく生まれ変わる様子を目の当たりにし、また企画立案から建設までを一貫して行っていると知り、このような都市開発の仕事をしたいと思い、大林組への入社を決めた。

2年目から開発部門に従事。 みなとみらいの事業には ゼロから参加

入社2年目から開発部門で勤務しています。これまでは名古屋に半年間勤務して再開発の企画提案をしたり、沖縄で1年半ほど土地の権利者との交渉などをしたりしてきましたが、長く携わってきたのは不動産ソリューション提案です。使われなくなった建物や土地の再利用・再開発の企画・提案する業務に10年程度携わってきました。現在は「みなとみらい21中央地区53街区開発事業」に専属で取り組んでいます。弊社が代表企業となり、かつ設計も施工

も単独で行うという、大規模複合開発です。私は着工前の企画段階から携わっているオリジナルメンバーの一人です。プロジェクトが大きければ大きいほど人の入れ替わりはよくあるのですが、コンソーシアム（共同事業体）の組成から関わらせていただいています。もともと横浜市の土地入札コンペから始まったこの事業は、検討期間を含めると着工まで3～4年かかりました。苦難の連続でしたが、コンペを勝ち取り、共同開発する4社とともに形にしていき、着工に至ったことには、喜びとやりがいを感じています。入社時の夢を実現できる喜びをかみしめながら、できれば2024年3月末の竣工まで携わって、しっかりと仕上げたいと思っています。